

## 第12回エメックス会議

### パタヤ宣言

#### 復元力のある沿岸海域の実現に向けて～統合的管理のための協力体制～

「復元力のある沿岸海域の実現に向けて～統合的管理のための協力体制～」をテーマに開催された第12回世界閉鎖性海域環境保全会議（EMECS12）の開会式でタイの学生達が「What a Wonderful World」（レイ・アームストロング）を歌った演出は、知識と目標を共有した人々がどのようにすれば調和のとれた連携を達成することができるかということを示唆している。

ステークホルダーの結束は汚染を軽減し、自然環境が回復と復元の長いプロセスをスタートさせていることを示している。しかし、温暖化、海面上昇、海洋酸性化、マイクロプラスチック、富栄養化、有害藻類ブルームといった脅威は続いており、環境の修復をより困難にさせている。閉鎖性海域の復元を行うと同時に、回復力を強化するためには、全てのステークホルダー間のさらなる調和が必要で、未曾有のレベルであらゆる分野において一層の協働を求めるだろう。

沿岸海域は、社会に不可欠なサービスと糧を供給する高い生産性を持った生態系である。そのため、先に述べた脅威が持つ継続的かつ潜在的なインパクトを最小化する回復力を強化するために、ステークホルダーがともに努力して沿岸域生態系を復元することが重要である。様々なシナリオ（例：気候変動に関する政府間パネル報告書）のもと、変化の割合を推測する予測ツールはより強化されており、直接、地域レベルから世界規模にわたるコミュニティに情報を提供することができる。

それゆえ、我々はタイ湾沿いにおいて宣言する。科学者の国際的コミュニティは、生産性や人間の健康、そしてインフラに及ぶ危険性を最小化し、沿岸域回復力を強める革新的予測ツールを適用するため、全てのステークホルダーとともに、より緊密に努力しなければならない。そして同時に生態系を復元し、温室効果ガス排出の削減を活発に続けることも必要である。それには地域レベルから世界規模に至るまでステークホルダー間の連携を重視した科学的、社会的、教育的ネットワークの調和が求められる。我々は大きく前進しているが、現在、世界が経験している劇的な変化に直面しており、我々はより強靱にならなければならない。

さらに、国際エメックスセンターはリーダーシップを発揮するため、国連の持続可能な開発目標：海洋および海の資源の保全と持続可能な利用（SDG14）において、ボランティア・コミットメントの登録を目指すことにしている。